

～犯罪から子供を守る～

《保護者の皆様へ》

小学校に入学すると、一人で行動する機会が増え、この頃から犯罪被害に遭う確率が高くなります。

そこで、特に小学校1年生のお子さんを持つ保護者の皆様には、親子で安全対策について話し合い、「自分の身（大切な命）は自分で守る」という意識をもっていただきたいと思います。

【合言葉を教えましょう！】

不審者から身を守るためには、幼少期から子供自身に「自分の身は自分で守る」方法を身につけさせることも大切です。その一つが「危険から身を守るための合言葉」です。お子さんの行動範囲と一緒に歩き、危険な場所等を確認しながら、合言葉を教えましょう。

〈危険から身を守るための合言葉～いやです、だめです、いきません～〉

◆ いやです

「名前や家を教えてくれる」、「一緒に子犬を探してくれない」等々、話しかけてきたら、はっきり「いやです」と断ろう。

◆ だめです

「かわいいね。写真を撮らせて」、「ちょっと髪を触らせてくれる」等々、話しかけてきたら、はっきり「だめです」と断ろう。

◆ いきません

「一緒に公園にいこう」、「駅まで一緒に案内してほしい」等々、話しかけてきたら、はっきり「いきません」と断ろう。

商業施設や公園の公衆トイレなど、子供が一人になるのを狙って声を掛けられる事案も発生していますので、注意してください。

《地域の皆様へ》

「ながら見守り活動」にご協力をお願いします。

「ながら見守り活動」とは、通勤や買い物、散歩などの外で仕事しながら、気軽にできる子供達の安全を見守る活動です。

子供を犯罪から守るためには、地域の「見守りの目」が大切です。

多くの目で見守りしていただくことが子供達の安全につながります。

ご協力をお願いします！

～不審者情報分析結果を基に～



令和5年中の13歳未満の子供を対象とした不審者情報は約1,100件で、その分析については、本年3月号の「生活安全だより」でお知らせしたところでありますが、新年度に入り、入園、入学した子供や新社会人など、地域の人の流れが変化する中、保護者、学校関係者、自主防犯活動に従事されている方々に止まらず、広く市民の皆様には、「地域の子供は地域で守る」との意識をお持ちいただき、子供たちの見守り活動をお願いします。

《分析内容》※本年3月号「生活安全だより」から抜粋

【行為別傾向】声かけ事案が全体の4割を占める。

行為別では「声かけ」が、全体の40.8%で飛び抜けて多く、他は、子供の容姿等を撮影する「盗撮」が14.5%、「つきまとい」が11.9%、「露出」が11.0%と、比較的高い割合で発生しています。

【被害者の人数別】一人でいるときに多く発生する。

被害に遭った子供の66.0%は、一人でいるときに不審者に遭遇しており、登下校や公園等で遊ぶときなどは、複数で行動させるよう心がけてください。

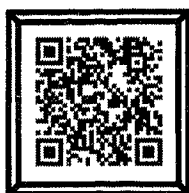
【被害時の態様別】登下校、帰宅時の被害が約6割を占める。

下校時、塾帰り、遊んだ帰り等を含めた「帰宅時」の被害が43.8%で一番多く、次いで「遊び中」21.9%、「通学時」14.8%と続いています。

「帰宅時」と「通学時」の被害を合わせると全体の58.6%であり、子供達が道路上を移動するという日常の行動の中で被害が発生しており、どの子供も等しく被害に遭う可能性があると言えます。

もばら安全・安心メールサービス

茂原市では、スマートフォン等を通じて利用できる「もばら安全・安心メールサービス」により、令和5年中、24件の不審者情報を発信いたしました。利用登録をして、御自身、御家族の安全・安心に資する情報入手のためにください。



左記QRコードまたは

<https://www.city.mobara.chiba.jp/0000000943.html>

を参照して利用登録をお願いします。

〈連絡先〉

茂原市役所 市民部 生活課

TEL 0475-20-1505 (月～金 8:30～17:15)